

【伊豆新聞 平成31年3月18日】

今年も伊豆古道も追加

宇佐美・石丁場保存会が写真展

駅前公園に50枚

伊東市の宇佐美江戸城石丁場遺跡・伊豆古道保存会（森篤会長）は17日、JR宇佐美駅前のポケットパークで屋外写真展をスタート

した。石丁場遺跡と伊豆古道を紹介する写真は50枚を展示した。24日午後1時まで続ける。

国の史跡「江戸城石垣石丁場遺跡」と市の史跡「伊豆古道・東浦路」を多くの人に知ってもらおうと企画した。昨年に続いて2回目の実施。昨年は石丁場遺跡だけだったが、

今年も伊豆古道を加えた。

ラミネート加工したA3判の写真を手すりやフェンスに掲示した。刻印石や江戸城の石垣、宇佐美から熱海市網代にかけての東浦路、ナコウ山山頂からの眺めなどの写真が、駅利用者らの関心を集めている。



写真パネルの設置を進める会員＝JR宇佐美駅前のポケットパーク

森会長は「公共工事で掘り出された刻印石が展示されたポケットパークを、自分たちは『御石公園』の愛称で読んでいます。石丁場遺跡や伊豆古道への基点となる御石公園に写真を飾ることで、宇佐美が重要な歴史文化と関わり深い地域であることをアピールしたい」と話した。